

病態制御研究部門

Bioscience

消化管生理学分野

Gastrointestinal Pathophysiology

教授 門脇 真 Makoto Kadowaki
助手 山本 武 Takeshi Yamamoto

研究概要

消化管疾患，特に腸管免疫性疾患の成因及び病態形成機序の解明と和漢薬を含めた薬物による制御．
腸管自律神経系の神経科学的研究．

総説

- 1) 門脇 真：コカインと創薬 - 麻薬からイノヴェイティブな新薬へ - . 和漢薬研究所年報，31: 3-14, 2005.

学会報告

- 1) 藏本博史，白井 良，坂本宏史，門脇 真：ラット遠位結腸における EC 細胞の形態的特徴．第 110 回日本解剖学会総会，2005，3，富山．
- 2) 門脇 真：腸管免疫性疾患病態モデルにおける腸管粘膜免疫 - 神経イントラネットの破綻．第 26 回和漢薬研究所 特別セミナー，2005，7，富山．
- 3) 藏本博史，門脇 真：食道を支配する迷走神経副交感神経線維に関する免疫組織化学的研究．第 28 回日本神経科学大会，2005，7，横浜．
- 4) 門脇 真，山本 武，宇都宮奈穂，兒玉利尚，藏本博史：マウス病態モデルを用いた食物アレルギー病態形成機序における自律神経系の役割．第 42 回日本消化器免疫学会，2005，8，東京．
- 5) 宇都宮奈穂，山本武，兒玉利尚，門脇真：マウス食物アレルギー病態モデルにおけるニコチン受容体の病態生理学的役割．日本薬学会北陸支部 第 113 回例会，2005，11，金沢．
- 6) 兒玉利尚，山本武，宇都宮奈穂，藏本博史，門脇真：食物アレルギーの発症機序におけるマスト細胞及び PI3 キナーゼの役割．日本薬学会北陸支部 第 113 回例会，2005，11，金沢．
- 7) 山本武，兒玉利尚，宇都宮奈穂，門脇真：オキサゾロン誘発マウス潰瘍性大腸炎モデルの病態解析と治療薬探索．日本薬学会北陸支部 第 113 回例会，2005，11，金沢．

その他

- 1) 門脇 真：腸管免疫性疾患と腸管神経系．第 1 回とやま GI クラブ，2005，4，富山．
- 2) 門脇 真：コカインと創薬 - 麻薬からイノヴェイティブな新薬へ - . 富山漢方会，2005，6，富山．
- 3) 門脇 真：消化管疾患における腸管神経系 - 腸管粘膜免疫系等からなる腸管イントラネットの病態生理学的役割．富山薬事研究会，2005，7，富山．
- 4) 門脇 真，門脇 孝，藏本博史：腸管粘膜免疫系及び腸管神経系と潰瘍性大腸炎の病因病態との関連 - 特に 7 型ニコチン受容体を介するコリン性抗炎症・免疫機構及び PPAR を介する抗炎症・免疫機構の破綻 - . 財団法人 喫煙科学研究財団 第 20 回助成研究発表会，2005，7，東京．
- 5) 門脇 真：腸管イントラネットの破綻 - 腸管免疫性疾患の病態生理学的解析 - . 第 2 回 Enteric Nervous System 研究会，2005，11，京都．